

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	137	担当課等	保健センター									
事務事業名	4か月児健康診査事業											
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	昭和	53	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P59 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(2) 母子保健の推進	① 母子保健の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目的	発育・発達の確認、身体異常の再評価、育児支援を実施する。				
対象	生後4か月児				
内容	医師による発育・発達・栄養状態の確認。保健師による育児支援。栄養士による栄養相談。平成27年度からウェルネス・タッチケア®認定講師によるタッチケアを同時に実施している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
	事業費		314,752	323,692		324,000		
	人件費	常勤職員	1,187,820	1,128,744		1,110,312		
		非常勤職員等	57,600	57,600		57,600		
		人件費合計	1,245,420	1,186,344		1,167,912		
	総事業費		1,560,172	1,510,036		1,491,912		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,560,172	1,510,036		1,491,912		
	財源合計		1,560,172	1,510,036		1,491,912		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
実施回数			毎月実施することで、受診しやすい環境となる。		回数	12	12	12
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
受診率			一人でも多くの発育・発達 の確認を行う。		%	96	93	94

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	母子保健法第13条により、市町村は必要に応じ妊産婦・乳幼児に対して健康診査を行い、また、勧奨しなければならないとされている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	早期に心身の発育・発達上の問題を発見し、適切な受診や療育につなげられている。ウェルネス・タッチケア®により、母子のふれあいが深まっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	4か月児健康診査を受けることで、健やかな発達の確認ができる。また、発達上の問題点の早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	対象者には、受診勧奨の個人通知を送付している。未受診児へは、保健師が個別に家庭を訪問し、受診勧奨をするとともに、状況を把握している。
平成27年度までの改善点		未受診児には、状況把握と受診勧奨のために、保健師による複数体制での家庭訪問を行っている。また、平成27年度からウェルネス・タッチケア®を導入し、保護者自身の自己肯定感を高めるための支援を実施した。	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	地区担当の保健師の紹介を分かり易く行い、保護者が相談しやすい関係づくりに努める。
平成29年度以降の方向性	特に明確な改善点はないが、現状を維持しながら、問題点は随時改善する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・母子保健法に基づく事業なので、受診率を100%に近づけることが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	138	担当課等	保健センター										
事務事業名	8～9か月児健康診査事業												
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	平成	9	年度	

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P59 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(2) 母子保健の推進	① 母子保健の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目的	発育・発達の確認、精神発達の確認、栄養状態の確認を行うため、健康診査を小田原医師会に委託して実施している。				
対象	生後、満8か月～9か月児(10か月になる前日まで)				
内容	医師による発育、発達、栄養状態の確認を実施している。 (4か月児健診の時に、受診券を渡して受診勧奨を行っている。)				

2 実施結果

(単位 円)

コスト		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
		事業費	954,009	900,209		959,000		
		人件費	常勤職員	395,940	376,248		370,104	
			非常勤職員等					
			人件費合計	395,940	376,248		370,104	
				総事業費	1,349,949	1,276,457		1,329,104
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他特定財源						
		一般財源	1,349,949	1,276,457		1,329,104		
		財源合計	1,349,949	1,276,457		1,329,104		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
施設健診実施機関数			実施機関の数を保ち、受診しやすい環境とする。	箇所	27	27	24	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
受診率			一人でも多くの発育・発達の確認を行う。	%	92.2	95.7	95.0	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	母子保健法第13条により、市町村は必要に応じ妊産婦・乳幼児に対して健康診査を行い、また、勧奨しなければならないとされている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	早期に心身の発育・発達上の問題を発見し、適切な受診や療育につなげられている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	8～9か月児健康診査を受けることで、健やかな発達が確認ができる。また、発達上の問題点の早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	対象児の保護者全員に受診券を手渡している。

平成27年度までの改善点	4か月健康診査時に8～9か月児健康診査の重要性を強調し、チラシを渡し受診勧奨した。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	特に明確な改善点はないが、現状を維持しながら、問題点は随時改善する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・母子保健法に基づく事業なので、受診率を100%に近づけることが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	139	担当課等	保健センター							
事務事業名	1歳6か月児健康診査事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	昭和 53 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(2) 母子保健の推進	① 母子保健の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	発育・発達の確認、食生活習慣と咀嚼能力の確認及び育児支援を実施する。				
対 象	生後1年7か月児 (生後1年6か月時点の状況を見るため、全員が生後1年6か月を過ぎた時点を対象としている。)				
内 容	医師による発育、発達、栄養状態の確認、歯科衛生士によるブラッシング指導、フッ素の塗布。栄養士による栄養相談。保健師による育児相談。平成27年度からウェルネス・タッチケア®認定講師によるタッチケアを同時に実施している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		1,040,454	739,014	744,000		
	人件費	常勤職員	1,187,820	1,128,744	1,110,312		
		非常勤職員等	57,600	57,600	57,600		
		人件費合計	1,245,420	1,186,344	1,167,912		
	総事業費		2,285,874	1,925,358	1,911,912		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		2,285,874	1,925,358	1,911,912		
	財源合計		2,285,874	1,925,358	1,911,912		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
実施回数			毎月実施することで、受診しやすい環境となる。	回数	12	12	12
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
受診率			一人でも多くの発育・発達の確認を行う。	%	95	89	90

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	母子保健法第13条により、市町村は必要に応じ妊産婦・乳幼児に対して健康診査を行い、また、勧奨しなければならないとされている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	早期に心身の発育・発達上の問題を発見し、適切な受診や療育につなげられている。ウェルネス・タッチケア®により、母子のふれあいが深まっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	1歳6か月児健康診査を受けることで健やかな発達が確認できる。また、発達上の問題点の早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	対象者には、受診勧奨の個人通知とアンケートを郵送している。未受診児へは、保健師が個別に家庭を訪問し、受診勧奨をするとともに、状況を把握している。

平成27年度までの改善点	未受診児には状況把握と受診勧奨のため、保健師による複数体制での家庭訪問を行っている。平成27年度にウェルネス・タッチケア®を導入し、保護者自身の自己肯定感を高めるための支援を実施した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	特に明確な改善点はないが、現状を維持しながら、問題点は随時改善する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・母子保健法に基づく事業なので、受診率を100%に近づけることが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	141	担当課等	保健センター							
事務事業名	乳幼児歯科検診事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	平成 9 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(2) 母子保健の推進	① 母子保健の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	乳幼児の「う蝕」(虫歯)を予防する。				
対 象	2歳児①、2歳6か月児②、歯科事後検診対象児(虫歯の危険性の高い児) ※①、②の番号は、2の「実施結果」の下欄にある成果指標の受診率・う蝕罹患率を区別して表記するためのものです。				
内 容	歯科医師による歯科検診、歯科衛生士によるブラッシング指導、フッ素塗布。栄養士による栄養相談。保健師による育児相談。平成27年度からウェルネス・タッチケア®認定講師によるタッチケアを同時に実施している。また、2歳児歯科検診では、言葉の遅れ等、発達に関する相談について心理判定員が対応し、保護者が安心して育児できるよう支援している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
		事業費	724,004	723,039		745,000		
		人件費	常勤職員	890,865	846,558		832,734	
			非常勤職員等	86,400	86,400		86,400	
			人件費合計	977,265	932,958		919,134	
				総事業費	1,701,269	1,655,997		1,664,134
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,701,269	1,655,997		1,664,134		
	財源合計		1,701,269	1,655,997		1,664,134		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
実施回数			隔月で実施することで、受診しやすい環境となる。	回	18	18	18	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
受診率			一人でも多くの児の歯の状態の確認	%	①93.4 ②83.2	①87.1 ②88.0	前年度1%増	
う蝕罹患率			治療につなげる、正しいブラッシング法の習得	%	①5.3 ②3.7	①3.7 ②8.2	前年度1%減	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	母子保健法第13条により、乳幼児歯科検診は、市町村で実施するものとされているため。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	「う蝕」が発見された場合には、治療につなげることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	フッ素を塗布することが、乳幼児の「う蝕」予防につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	対象児全員に、お知らせのハガキを郵送している。

平成27年度までの改善点	未受診児には状況把握と受診勧奨のため、保健師が電話によるお尋ね、または複数体制で家庭訪問を行っている。平成27年度よりウェルネス・タッチケア®を導入し、保護者自身の自己肯定感を高めるための支援を実施した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	特に明確な改善点はないが、現状を維持しながら、問題点は随時改善する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・母子保健法に基づく事業なので、受診率を100%に近づけることが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	143	担当課等	保健センター							
事務事業名	食生活改善推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	昭和 60 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(1) 健康増進・食育の推進	⑥ 地域における健康づくりの推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	家庭における食生活に対する正しい理解と改善を普及させる。				
対 象	一般町民				
内 容	湯河原町食生活改善推進団体に委託して栄養指導教室を開催している。脳血管疾患の罹患率が高いことから、高血圧予防のための減塩活動に取り組んでいる。				

2 実施結果

(単位 円)

		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)	
コスト		事業費	325,097	301,971	327,000	
	人件費	常勤職員	395,940	376,248	370,104	
		非常勤職員等	19,200	19,200	19,200	
		人件費合計	415,140	395,448	389,304	
		総事業費	740,237	697,419	716,304	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	740,237	697,419	716,304	
		財源合計	740,237	697,419	716,304	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
活動事業数		食に関する正しい知識を広める機会を多くする。	回	43	43	現状維持
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
食生活改善推進団体会員数		食生活改善推進事業の円滑	人	46	46	48
新規会員数		な運営につながる。	人	2	4	2

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	地域保健法により、食生活改善推進員の養成は市町村で行うこととされている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	食生活の改善につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	食生活改善推進団体に委託して行う栄養指導教室を通して、食に関する正しい知識が広められている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	栄養指導教室や食生活改善推進員養成講座について、広く一般町民に対し広報紙で募集を行っているため均等と考える。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	特に明確な改善点はないが、現状を維持しながら、問題点は随時改善する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	食生活に対する正しい理解と改善を図るため、食に関する正しい知識を有する食生活改善推進団体へ委託し、事業を継続する必要がある。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・食生活に対する正しい理解と改善を図るため、食に関する正しい知識を有する食生活改善推進団体に協力していただき、事業を継続する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	1083	担当課等	保健センター							
事務事業名	未熟児訪問指導事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業開始年度	平成 25 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(2) 母子保健の推進	① 母子保健の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	平成25年度以降、未熟児訪問指導事業が県から市町村に移譲されたことにより、担当職員の訪問指導に関する専門的な知識が必要とされるため、専門研修を受講し知識を得ている。				
対 象	職員(主に保健師)				
内 容	専門研修を受講し訪問指導に必要な知識を習得する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
	事業費		36,562	32,760		70,000		
	人件費	常勤職員	65,990	62,708		61,684		
		非常勤職員等						
		人件費合計	65,990	62,708		61,684		
	総事業費		102,552	95,468		131,684		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		102,552	95,468		131,684		
	財源合計		102,552	95,468		131,684		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
専門研修日数			知識を得る機会の数		日	2	2	2
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	未熟児訪問指導事業は、市町村で実施するものとされているため、保健師等が訪問指導事業を実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	最新の知識を習得できるため、事業に役立てられている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	習得した最新の知識を用いて、適切な訪問指導が実施できている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	訪問指導を実施する保健師等が順番に専門研修を受講し、得られた最新の知識を共有できている。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	継続して専門研修に参加し、訪問指導に必要な知識を習得する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・母子保健や訪問指導に関する最新の知識を習得できるため、継続して受講する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	922	担当課等	保健センター									
事務事業名	腎疾患予防事業											
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	61	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	2 予防対策	(1) 各種検診の推進	② がん予防などの正しい知識の普及啓発
関連する個別計画					
目 的	腎疾患等を早期に発見する。				
対 象	私立幼稚園の園児				
内 容	尿検査(蛋白・糖・潜血)の委託を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費		20,617	21,114	25,000		
	人件費	常勤職員	4,124	3,919	3,855		
		非常勤職員等					
		人件費合計	4,124	3,919	3,855		
	総事業費		24,741	25,033	28,855		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		24,741	25,033	28,855		
	財源合計		24,741	25,033	28,855		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
検査実施人数			対象者を把握する必要がある。	人	83	85	97
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
検査率			対象者全員の検査を目指す。	%	93	92	100

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	町立の幼稚園・保育園は町で実施しているため、私立の保育園については、別に実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	約250円／人と少額の費用で腎疾患等の早期発見につながれば効率性は高い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	腎疾患等の早期発見につながる検査のため、有効であると考ええる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	町立幼稚園・保育園の園児と私立幼稚園の園児のが同じ検査を受けることができている。

平成27年度までの改善点	園児の保護者に対し、検査の重要性を伝えるよう、私立幼稚園に依頼した。
--------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	私立幼稚園に、園児の保護者に対し、検査の重要性を伝え、全員が検査するよう依頼した。
平成29年度以降の方向性	私立幼稚園に、園児の保護者に対し、検査の重要性を伝えることを徹底してもらうよう依頼する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・毎年対象者が変わるため、継続して実施する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	922	担当課等	保健センター							
事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P59 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(1) 健康増進・食育の推進	⑤ こころの健康づくりの推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	命の大切さを考える機会を通して、自殺者の減少につなげる。				
対 象	一般町民				
内 容	若年層対象研修会(児童とその保護者が、ふれあいを通じて自己肯定感を高め、命の大切さを学ぶ)及び成人(一般町民)向け研修(ゲートキーパー(悩んでいる人に気づき声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、その後も見守る人)に必要な能力の一つの聴き方を習得する)を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
	事業費		168,036	59,873		219,000		
	人件費	常勤職員	65,990	62,708		92,526		
		非常勤職員等						
		人件費合計	65,990	62,708		92,526		
	総事業費		234,026	122,581		311,526		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		168,036	51,000		(108,000)		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		65,990	71,581		203,526		
	財源合計		234,026	122,581		311,526		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
若年層対象研修会			命の大切さを学ぶ機会の数		回	0	1	1
成人向け研修会			ゲートキーパー育成の機会の数		回	0	1	1
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	対象者が特定できないため、町民全体に対する事業を町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	若年層、成人とも参加者の命の大切さに対する理解が深まった。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	広く一般町民に対し広報紙で募集を行っているため、ある程度均等であると考ええる。

平成27年度までの改善点	広報紙で参加者を募集するだけでなく、他の母子保健等の事業の参加者に声をかけるなど、参加者の増に努めた。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	前年度と同内容の研修会に加え、より直接的に自殺者の減につながるよう、「こころの健康相談」として、心に不安のある人等を対象にした臨床心理士による個別相談会を実施する。
平成29年度以降の方向性	現状維持を基準に、平成28年度の実績を踏まえて、平成29年度以降の事業内容を検討したい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・現事業を実施・検証しながら、町自殺対策計画を定める必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	1232	担当課等	保健センター							
事務事業名	健康増進計画・食育推進計画推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P58 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(1) 健康増進・食育の推進	① 健康増進計画・食育推進計画の推進
関連する個別計画	湯ったりゆがわら『健幸』プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)				
目 的	国、県の法律、計画を踏まえ、町民がともに支え合い健康な生涯を送れるよう地域の健康づくりを推進する目的で、本町の実情に合わせて計画した湯ったりゆがわら『健幸』プランを推進するための組織を設け運営する。				
対 象	一般町民				
内 容	乳幼児期、学童期・思春期、青年期・壮年期、高齢期の各年代を対象とした健康づくり7事業の策定・実施・評価・改善を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
		事業費	1,135,283	739,474		206,000		
		人件費	常勤職員	659,900	940,620		616,840	
			非常勤職員等	345,970	18,600		65,100	
			人件費合計	1,005,870	959,220		681,940	
		総事業費	2,141,153	1,698,694		887,940		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他特定財源						
		一般財源	2,141,153	1,698,694		887,940		
		財源合計	2,141,153	1,698,694		887,940		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
事業推進体制の構築			プロジェクトチームの活動		回数	0	0	7
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	国の健康増進法、県のかながわ健康プラン21等を踏まえた、本町の実情に合わせた計画が必要。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	住民健康調査を実施し、各年代ごとの健康づくりの問題について分析し、課題を抽出、解決策となる新規7事業の計画を策定することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	住民健康調査を実施し、各年代ごとの健康づくりの問題について分析し、課題を抽出、解決策となる新規7事業の計画を策定することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	C	計画は町ホームページに掲載している。 本町の実情に合わせた計画となっており、年代ごとの健康づくりに役立つと考える。
平成27年度までの改善点		平成26年度～27年度までは、健康増進計画・食育推進計画の策定を行った。	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	新規7事業について、関係部署・団体との打合せ等の準備を進め、事業が推進できる体制を構築する。 また、計画の実施について協議・決定し、適切に実施されているか横断的に検証・評価し改善提言を行う計画推進委員会を設置する。
平成29年度以降の方向性	年度ごと、段階的に事業の実施を予定している。 平成29年度から3事業、平成30年度から3事業、平成31年度から1事業を実施する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	周知方法はホームページのみならず、町広報紙や地方紙、各会議におけるチラシ配布など、町民が目にすることができる工夫を必要とする。 また、設置した委員会で検証・評価し改善を行う。
---------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	PDCAサイクルを確立し、検証・評価を行う。
---------	---------	------------------------